

PROLOGUE

木二中 学校だより No.03 令和6年4月22日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233

E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



木二中生へ 誇り高き集団であれ

令和6年度がスタートしてから3週目を迎え、それぞれの学年で新しい環境にも慣れてきた頃ではないかと思います。新入生は、新しい仲間や新しい先生方との出会いを経て、教室から元気な声が響くようになってきました。2年生は、廊下の掲示物等や集会等での行動から中堅学年としての決意が感じられるように、そして3年生は、授業中の姿勢はもちろん、部活動等、様々な面で最高学年としての威厳が感じられるようになりました。実に頼もしい。私はそんな木二中生を心の底から誇りに思います。本当です。

みんなはどうだろう？この歴史と伝統のある木二中を、かけがえのない仲間が集う学び舎を、心の底から誇りに思っていますか？

戦後間もない1947年(昭和22年)4月に初代校長、佐治貞一先生を迎えて開校した木更津市立木更津第二中学校。私が生まれる20年以上も前から存在しているこの中学校は、幾多の栄光と困難を歴史に刻み現在に至ります。その歴史と伝統を紡いできた先生方はもちろん、数多くの卒業生に思いを馳せると、現校長としてその職責に背筋が伸びる思いです。「しっかりと次世代にこの歴史と伝統を繋ぎなければ…」と。

3年生の皆さんへ。君たちは中学生としてのラストイヤー、何をするにも「中学生生活最後の〇〇」に。「入学式の合唱、頼むぞ。」の校長からの注文に威厳をもって応えてくれましたね。どうか一生に一度しかない中学校生活を謳歌*してほしい。

【*謳歌=声を合わせて歌うこと。合唱。転じて自分自身や他者が生活を充実させて楽しむ様子のこと】

2年生のみなさんへ。君たちは中堅学年、生まれて初めて「先輩」と呼ばれて何だかすぐったい思いをしたかもしれないけど、昨年から見てきた私の目には、確実に成長の軌跡が刻まれています。君たちなら大丈夫。どうか自信をもって中学校生活を謳歌してほしい。

1年生の皆さんへ。君たちは中学校生活初心者マーク。とは言え、誰だって通る道です。少々先生や先輩に迷惑をかけるくらいがちょうどいい。1年生なんだから。命に関わる取り返しのつかない失敗はダメだけど、失敗がなければ成長はない。成長(成功)するためには失敗しなければならない。失敗するためには挑戦するしかない！どうか新しい仲間たちとの絆を深め、中学校生活1年目を謳歌してほしい。

そして、この学び舎で中学校生活を送ることに誇りをもってほしい。この木更津二中を、木更津二中の生徒であることに誇りをもってほしい。木二中生523名全員が、誇り高き集団であってほしい。

保護者の皆さまへ 授業参観・学級懇談会ありがとうございました

先週19日(金)に行われた授業参観・学級懇談会に数多くの保護者の皆さまにお集まりいただき誠にありがとうございました。また、本校には500台を収容できる駐車スペースがないため、ご不便をおかけしましたが、多くの皆さまにご理解・ご協力をいただきましたことについても重ねて感謝申し上げます。

授業参観前に別用である2学年生徒の保護者の方とお電話でお話しする機会がありました。その際、お車でのご来校を控えていただく旨の謝罪をしたところ、

「校長先生、そんなこと保護者はみんなわかっていますよ、仕方ないですものね。」と心温まるお言葉をいただきました。

『他者や周囲を考えずに自分だけが利することばかり考えるという風潮がないとは言えない』(昨年度学校だより「INSIDE OUT No.20 令和5年9月25日発行」より) この世知辛い世の中であって、この木更津第二中学校は本当に心温かな保護者の皆さまに支えていただいている、ということについても改めて校長として感謝を申し上げますとともに、そのような保護者の皆さまを校長として誇りに思います。

令和6年度の学校教育目標の重点項目である「利他の心」を保護者の皆さまにも実践していただくとは…。本当にありがとうございます。